

福岡県米麦大豆生産改善速報 第3号

令和2年7月30日
福岡県
福岡県米麦品質改善協会

普通期水稻の生育概況と対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月15日～7月26日 (12日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	25.5	30.0	22.6	31	152
前年差(比)	-1.3	-1.3	-1.2	62	51
平年差(比)	-1.5	-1.5	-1.1	48	130

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 農林業総合試験場における生育概況

7月15日～7月26日の平均気温は平年より1.5℃低く、日照時間は52%少なく、降水量は30%多く、低温寡照多雨で経過した。7月27日現在における水稻の生育は、草丈は6月10日植の「夢つくし」では平年より10%短く、その他の品種は平年並～5%長かった。茎数は、6月10日植の「夢つくし」では平年より19%少なかったが、その他の品種は2～8%多かった。主稈葉数は、いずれの品種も平年より0.2～0.7葉少なく、生育は遅れている。

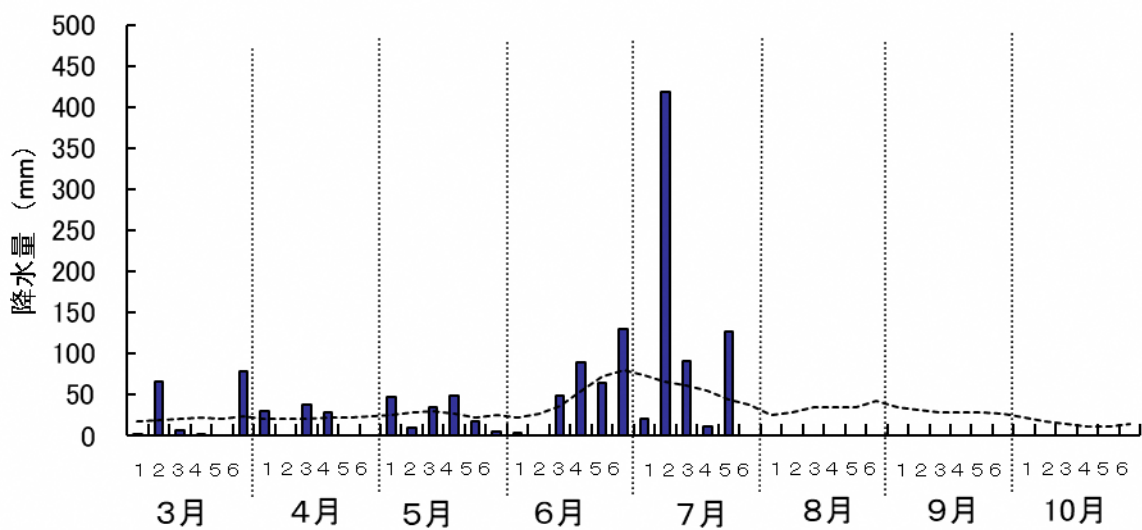
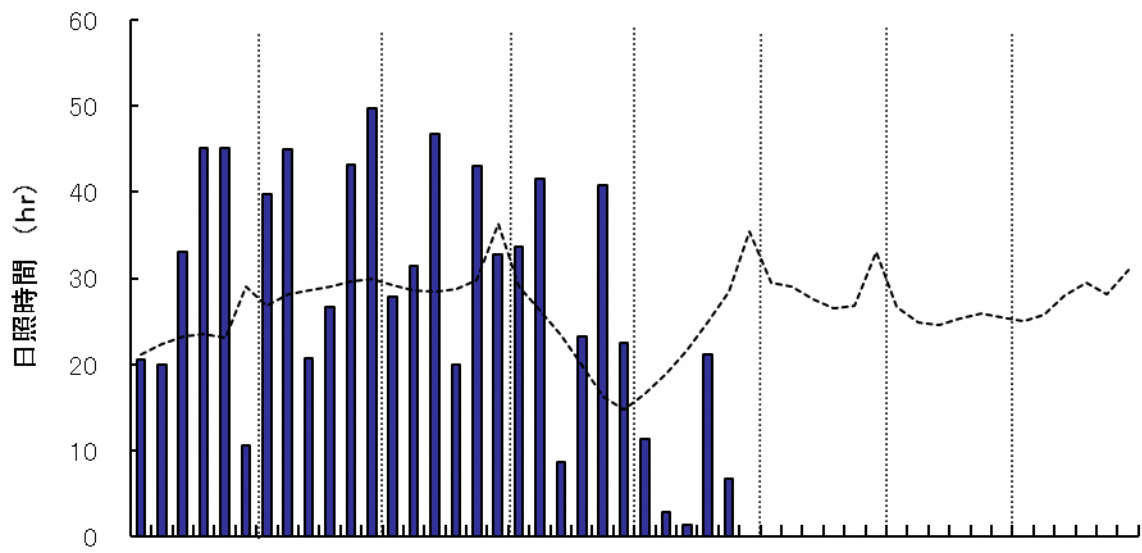
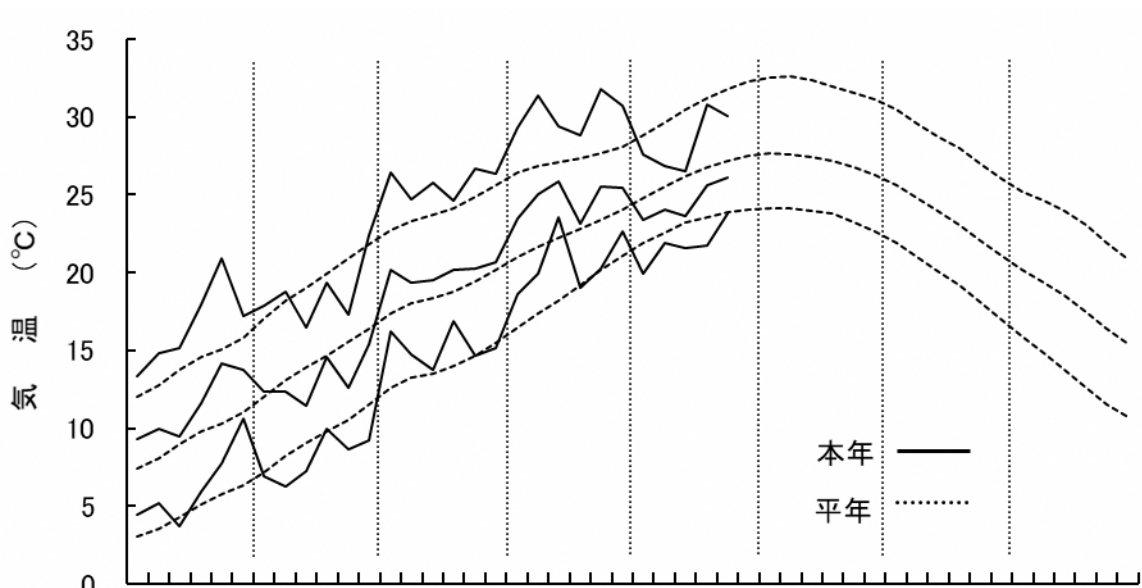
3. 当面の対策

- 1) 水 管 理 中晩生品種で中干しを実施していない場合は、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。中干しは、田面に小さい亀裂ができる程度とする。中干し終了後は間断かん水を行い、根の活力維持に努める。
- 2) 施 肥 出穂期は平年並み～やや遅いと予想されるため、穂肥は幼穂長や葉色を確認して適期に施用する。
- 3) 病害虫管理 いもち病、ウンカ類、コブノメイガの対策は、予察情報を参考に適期に行う。特にトビイロウンカ、コブノメイガの飛来量は発生状況に注意する。カメムシ対策として、畦畔草刈りは出穂期10日前までに実施する。

4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	7月15日			7月27日				
				草丈	m ² 当たり	主稈	草丈	m ² 当たり	主稈	カー	葉緑
				(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	スケール	素計
農産部	6/10	夢つくし	本年	61	436	9.3	67	349	11.1	4.0	42.0
			前年比(差)	121	110	-0.2	98	93	-0.2	+0.5	+3.6
			平年比(差)	97	98	-0.8	90	81	-0.6	+0.1	+2.5
	6/19	元気つくし	本年	52	279	7.4	65	436	9.6	3.6	39.4
			前年比(差)	129	89	-0.9	96	117	-0.9	-0.3	-3.1
			平年比(差)	114	90	-0.9	98	108	-0.7	-0.2	-0.4
ヒノヒカリ		本年	42	253	7.6	58	473	9.6	4.0	42.9	
		前年比(差)	118	79	-0.7	98	126	-0.8	+0.1	+2.1	
		平年比(差)	109	78	-0.7	104	103	-0.6	±0.0	+3.4	
筑後分場	6/20	元気つくし	本年	52	348	7.7	71	528	10.3	4.2	42.4
			前年比(差)	137	112	±0	98	110	-0.5	±0.0	-2.1
			平年比(差)	115	88	-0.6	104	102	-0.2	+0.3	+2.2
		ヒノヒカリ	本年	43	362	7.8	64	618	10.3	4.3	43.0
			前年比(差)	122	88	-0.2	99	100	-0.3	-0.1	-2.2
			平年比(差)	111	85	-0.6	105	104	-0.2	+0.3	+1.6
	実りつくし	本年	51	343	7.6	67	607	10.4	4.0	40.3	
		前年比(差)	129	106	±0	95	107	-0.1	-0.2	-3.4	
		前5年比(差)	113	91	-0.6	99	105	-0.3	+0.0	-0.6	

注) ①平年値は過去10か年の平均値。
 ②この値は暫定値で、今後変更することがある。



2020年(令和2年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)